

## あなたのフェアトレード理解度チェック！ 無料オンラインクイズが始まります

東京学芸大学附属国際中等教育学校ソーシャルアクションチームとの連携企画

国際フェアトレード認証の普及推進を行う認定 NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン(東京都中央区、理事長:堀木一男、以下 FLJ)は、このたび、東京学芸大学附属国際中等教育学校のソーシャルアクションチーム(以下 SAT)に所属する生徒の皆さんと協働で、オンラインのフェアトレードクイズを作成しました。

現在、フェアトレードは、国語、歴史、地理、英語、家庭科など、多くの教科で教育の題材として取り上げられており、10代のフェアトレード知名度(フェアトレードという言葉を見聞きしたことがあると答えた割合)は78.4%に上っています。一方、フェアトレードという言葉を見聞きしたことがあっても、正しい意味や内容の理解が十分ではなかったり、誤解していたりするケースも多く、ある程度、正しく意味を理解できている割合はそのうちの半数以下という状況です。(一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム「フェアトレードに関する意識・行動調査2019」より)

そこで、より多くの中高生がフェアトレードのもつ「力」を理解し、「知る」⇒「理解する」⇒「購入する」⇒「誰かのきっかけになる」というサイクルに参画できる社会を目指し、フェアトレードクイズを作成しました。誰でも気軽にチャレンジできるよう、スマートフォンやパソコンから無料でアクセスできます。中学・高校の授業の一環として、教員の皆さまもぜひご活用ください。

今回、フェアトレードクイズ作成に取り組んだ東京学芸大学附属国際中等教育学校 SAT メンバーの中山聖英子さんは、「このクイズを解くことで、私たちと同じ中高生のみならず、大学生や大人も含め多くの人々に少しでもフェアトレードについて興味を持ってもらい、意外と身近に存在しているフェアトレード商品などにも目を向けてみて欲しい」と呼びかけています。

人権と環境を守りながらサステナブルな農業と貿易を促進し、持続可能な消費の具体的な選択肢を提供する国際フェアトレード認証のしくみは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与するものとして、世界的に取組みが広がっています。フェアトレード認証製品を選択することは、私たち市民一人ひとりがSDGs達成に具体的に参画できる身近な方法です。ぜひ多くの方々のチャレンジをお待ちしています！

---

### フェアトレードクイズ 企画概要

---

- 概要: ・Google フォームによるオンラインクイズ(URL: <https://forms.gle/PmwLfN5XcnFVGinDA>)
  - ・全12問
  - ・所要時間10分程度
  - ・アクセス無料
- 対象: 中学生・高校生。大学生や大人のチャレンジも大歓迎です。
- 特典: フェアトレードクイズ公開記念として、クイズに全問回答いただいた方全員に、フェアトレード認証製品のオンラインショップで使える割引クーポンを差し上げます。特典提供は9月30日まで。但し提供上限数に達した時点で終了。クイズは9月30日以降も継続してアクセスできます。  
(特典提供: 一般社団法人わかちあいプロジェクト、有限会社シサム工房)
- 企画協力: 東京学芸大学附属国際中等教育学校ソーシャルアクションチーム <https://www.tguissvt.com/>
- 主催: 特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン <https://www.fairtrade.jp.org/>

---

本件に関するお問い合わせ先:

認定 NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン(担当:中島/電話070-1475-2283)

## 【ご参考】

### ■フェアトレードとSDGs

フェアトレードは、人権と環境を守りながら生産された原料や製品を、適正な価格で継続的に購入するなど、貿易のしくみをより公平・公正にすることにより、特に開発途上国の小規模生産者や労働者が、自らの力で貧困から脱却し、持続可能な世界の実現を目指す取り組みです。

貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標と169のターゲットのほとんどが、何らかの形で食料と農業に関連しています。世界人口の40%は農業で生計を立てています。いまだ世界に1億5200万人いる児童労働の70%以上が農業に集中しています。持続可能な農業と貿易を促進し、持続可能な消費の具体的な選択肢を提供する国際フェアトレード認証のしくみは、特に以下8つのSDGsに大きく寄与しています。2016年3月、フェアトレード・インターナショナル(本部:ドイツ・ボン)は、SDGs達成に向けたEuropean Commission(欧州委員会)の戦略的パートナーに選出されています。



### ■国際フェアトレード認証ラベルについて

フェアトレード・インターナショナルが定める国際フェアトレード基準に基づき、人権・環境に配慮した生産・取引がされているかどうか、第三者である認証機関が定期的に監査して認められた商品にのみ、表示することができるラベルです。  
現在、世界158カ国でこの認証ラベルの貼付された製品が流通しています。



### ■東京学芸大学附属国際中等教育学校ソーシャルアクションチームについて(略称:TGISS SAT)

2009年に「ボランティア部」として活動を開始。これまで地域のイベントでのボランティア活動のほか、途上国へのおもちゃの寄付や、寄付月間公式認定企画「キノチカラ fes.」の開催、2つの地域の名産物を組み合わせたお菓子「コラボ商品」の開発などを行ってきた。

2019年度、10周年を迎え、「ソーシャルアクションチーム」に改名。Vision「中高生があたりまえに参画できる社会を実現させる」、Mission「中高生が参画しやすい社会を創るために、中高生のモデルとなる」を掲げながら約30名の中高生で活動している。

### ■認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパンについて

1993年設立。フェアトレード・インターナショナルの加盟メンバーとして、国際フェアトレード認証ラベルの認証・ライセンス事業を担う国内唯一の機関です。認証・ライセンス事業に加え、市民、NPO/NGO、企業、教育機関、政府・行政、メディアなどと連携して、フェアトレードの普及啓発活動を行っています。

現在、国内約200の企業・団体がフェアトレード認証に参加しています。2019年、日本における国際フェアトレード認証製品の推定市場規模は124億円を超えています。